

社協ワーカーだより

No.64 平成30年1月

地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや社協の事業について情報発信するお便りです！！



福岡市社協キャラクター
ここと

発行：福岡市社会福祉協議会地域福祉課（TEL720-5356）
各区社会福祉協議会

福岡市保育士人材確保事業（保育士への資金貸付）

近年、全国的に待機児童や保育士不足が問題となっており、福岡市も例外ではありません。

そこで福岡市では、待機児童の解消に向けた保育士の離職防止や潜在保育士（保育士資格は有するが、保育士として勤務していない人）の再就職支援を目的として、地域の保育人材の確保を図るため、次の2つの貸付を実施しています。

いずれの貸付も、福岡市内の保育所等に2年間勤務すると、貸付金の全額が返還免除されます。

内容

I 保育料の一部貸付事業 ～保育料の一部を最長1年間貸し付けます～

【対象者】 未就学児がいる人で福岡市内の保育所等で①②のいずれかに該当する人

①新たに勤務する人 ②産後休暇・育児休業から職場復帰する人

【貸付額】 保育料の半額、月額27,000円以内

【貸付期間】 勤務を開始した日から1年以内



II 就職準備金貸付事業 ～就職するために必要な資金を貸し付けます～

【対象者】 ①～③のいずれにも該当する人（同一の貸付対象者に対し1回限り）

① 保育士登録後1年以上経過している人、又は保育士登録が行われてからの期間が1年未満の人のうち、養成施設の卒業若しくは保育士試験の合格から1年以上経過した人

② 保育士として以下の施設又は事業を離職後1年以上経過した人又は勤務経験がない人

（保育所・幼保連携型認定こども園・家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業・幼稚園）

③ 福岡市内の認可保育所等に新たに勤務する人

【貸付額】 200,000円以内

（ただし、一定の条件を満たす地域は400,000円以内。福岡市は、平成29年12月1日現在、貸付上限額は400,000円となっています。なお、貸付上限額は変更となる場合があります。）



I・II共通要件

- ・保育士として週20時間以上の勤務
- ・貸付利子は無利子
- ・連帯保証人1名必要（原則、県内に居住し、かつ独立の生計を営む成年者。）

九州電力「みまもりサポート」を活用した社会実験



城南区別府校区では平成 29 年 6 月 1 日から 11 月 30 日までの半年間、「九州電力『みまもりサポート』を活用した社会実験」を、九州電力・福岡市・福岡市社会福祉協議会と協働で実施しました。

九州電力キャラクター
「みらいくん」

この実験は、見守り対象者の自宅の電力使用量の使用状況が普段と異なったときに、対象者を見守るふれあいネットワークの訪問員に電子メールで通知が届く仕組みです。電子メールを利用していない訪問員でも、ふれあいネットワーク訪問員同士のつながりを活用し、電話連絡やショートメッセージで見守り対象者の情報を共有します。通知が届いた訪問員は、対象者の様子を見に行ったり電話をかけるなどして異変がないかを確認するという見守り活動を行いました。

実験中は、定期的に状況を確認するために関係者会議を重ね、ふれあいネットワークのボランティアや町内会長、民生委員、企業、行政などさまざまな立場の関係者が協働し、有効な成果が出るよう取り組みました。区社協 CSW は地域との連絡窓口となり、できるだけ地域に負担をかけず社会実験が円滑に進むよう協力しました。

実験終了後に行ったグループワークでは、「メールが届くことで異変に気づくことができる」「システムはあくまで地域での見守りを補完するツール」「やはり向こう三軒両隣で顔を見て元気であることを確認することが 1 番」との意見がありました。



今後は、別府校区での実験から見えた課題を洗い出したうえで、地域の見守りにどのように活用できるか、今回関わった機関がそれぞれの立場で検証していく予定です。



今月の 気（KEY）になる！！キーワード 「ダブルケア」



「ダブルケア」とは、子育てと親や親族の介護が同時期に発生する状態のことをいいます。

内閣府の調査では、ダブルケアを行う人口は、平成 25 年で 25 万 3 千人という結果がでています。その背景としては、①女性の晩婚化による出産年齢の高齢化、②兄弟数の減少、③親戚関係の希薄化 等の家族構造の変化があげられており、今後は、ダブルケアに直面する世帯の増加が予測されています。しかし、子育てと介護の両立を支える仕組みや制度はまだ整備されておらず、当事者だけで問題を抱え込んでしまったり、自由な時間が制約されることから地域や社会から孤立してしまう可能性があります。

ダブルケア当事者を地域から孤立させないためにも、声かけや助け合いのある地域づくりが求められています。

(区社協コメント等)